

聖霊よ、私たちはあなたの前に立っています

Adsumus Sancte Spiritus
シノドスのための祈り
(シノドス第1会期 ローマ 2023年10月4-29日)

聖霊よ、
わたしたちは あなたの前に立ち、あなたの名によって集います。
わたしたちのもとに来て、とどまり、一人ひとりの心にお住みください。
わたしたちに進むべき道を示し、どのように歩めばよいか教えてください。
弱く、罪深いわたしたちが、一致を乱さないよう支えてください。
わたしたちが無知によって誤った道に引き込まれず、
偏見に惑わされないよう導いてください。
わたしたちがあなたのもとに一致することが出来ますように。
わたしたちが永遠のいのちへの旅を続け、真理と正義の道を迷わずに
歩むことが出来ますように。
このすべてを、いつどこにおいても働いておられるあなたに願います。
御父と御子の交わりの中で、世々としえに。アーメン。



ともに歩む教会の心構え

2

宣教は 燃える心 踏み出す足

(ルカ 24・13-35)

Step 2: 神のことは心を変える

「エマオに向かう二人の弟子の心は、信じていたイエスの死によって悲しみに包まれていました。そのとき、主はご自分から弟子たちに近づき、歩みをともにされます。ご自分について聖書に書かれていることを説明されました。すると弟子たちの心は熱く燃えました。『道で話しておられたとき、また聖書を説明してください。わたしたちの心は燃えていたではないか』。まさにイエスは生きたことばでおられ、心に火をつけ、心を照らし、変えることのできる ただお一人のかたです」

教皇フランシスコ
2023年「世界宣教の日」メッセージ より



祈りの旅を続けましょう。
今週は アメリカ大陸を思い起こします。
この地に住むすべての人に神からの
必要な恵みが与えられますように。

御父よ、
アメリカ大陸とそこにある国々で生きるすべての人たちのためにあなたの保護を強くお願いします。すべての人があなたの聖なる英知に導かれて真の共通の利益を生み出しますように。
アーメン。

VOCATION

イエスの宣教のまなざし



イエスの弟子の共同体は、使徒としてまた宣教者として誕生しました。それが形だけのものになってしまうことがあります。そうになると、自分の中に閉じこもり、自分のことだけを話し、ついには退化します。聖書から、熱意を引き出しましょう。それを象徴するエピソードは使徒マタイへの呼びかけです(マタイ9.9-13)。

福音書によると、イエスが「男を見かけ」とあります。ありのままのマタイを知る人はほとんどいません。ただ「収税所に座っている」人物として知られていました。マタイは人々にとっては敵国に協力する人であり、裏切り者でした。イエスの目にマタイは、惨めさと素晴らしさ両面を持った男として映ります。気づいてほしいのは、イエスがそれらの形容詞(外見)で止まってしまうわず、いつも名詞(真の姿)を探しているということです。

マタイと人々の間には距離がありました。人々は形容詞「徴税人の」という部分に目を向けていたからです。しかしイエスはマタイに近寄ります。「わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである」。イエスのこの眼差し、つまりどのような人であっても、愛を受けるに値する人だと見る眼差しは、本当に美しく、これこそ宣教への情熱の始まりです。こう自問自答してみましよう。他の人をどのように見ているだろうか。他の人の必要にではなく、欠点に目を向けていないだろうか。他の人の行いを見、考えを聞いて、その人にたくさんのレッテルを貼っていないだろうか。キリスト者でさえ、心の中で次のように考えるのです。その人はキリスト者か、そうでないか、と。これはイエスの眼差しではありません。

教皇フランシスコ
2023年1月11日 一般謁見演説 より

主日の福音から黙想のヒント

「神の国にふさわしい実を結ぶ民に」(マタイ 21.33-43)



福音のことばの種をいただいて 善い農夫たち
(わたしたち)は いつも感謝の内に働き(愛を行い)
季節ごとに(毎日曜日)豊かな実りを主人に差し出す。

ともに祈りましょう (共同祈願)

- ☆ イエスとの出会いに魅せられて イエスのように生きようとする若者たちをふやしてください。物欲から解放され、ひたむきな心が与えられますように。
- ☆ わたしたちの教会が、経済的に困ったときでも、貧しい人たちのことを忘れることがありませんように。

典
礼
と
祈
り



宣教のロザリオ

アメリカ大陸のためにロザリオの一連を唱えましょう。